

第39号

高石市

# 青少年健全育成

発行所  
高石市青少年健全育成推進会  
(高石市教育委員会)  
〒592-8585  
高石市加茂4丁目1番1号  
TEL 265-1001

## 「安心・安全で優れた子育て・教育環境へ」

高石市青少年健全育成推進会会長



高石市長 阪口伸六

### 「第2期地方創生の取組」

まずもって、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、小中学校の休校や各種行事の中止延期等が皆様方に多大のご苦勞をおかけ申し上げ、誠に恐縮に存じます。あおぞら児童会(学童保育)の開設時間延長等、対応しておりますが、子どもから高齢者まで、すべての市民の健康・命を守るため、どうかご協力のほどよろしくお願ひします。

さて、少子高齢化、人口の減少が急速に進む中、東京一極集中の是正、地方の活性化をめざし、国において地方創生の取組が進んでいます。

これまで本市では、中学校給食の導入や普通教室へのエアコン整備、待機児童ゼロの達成など、優れた学校教育施設と子育て支援の充実をふまえ、第1期の「まち・ひと・



中学校給食の導入

し」と総合戦略」として「たかい、たかい、たかい市」をキャッチフレーズに、アブラたかいの子育てウエルカムステーションHUGOOD(ハグッド)を開設し、若年層の定住促進を進め、その結果、若年層

## 高石っ子憲章

高石市青少年健全育成推進会 昭和61年7月15日制定

わたしたちは、高石っ子が自ら豊かな社会をつくり出し、たくましく生きぬく人間に成長することを願っています。

そのため、家庭・学校・地域の協力のもと、自由と平和を愛し、正義と秩序を重んじ、たがいに尊重しあう民主的な人間に育つことをめざして、この憲章を制定します。

1. 高石っ子は、ひとりひとりがかけがえのない人として、たがいの人権を尊重する人間になります。
1. 高石っ子は、自ら学び、考え、判断し、豊かな創造力とひろい心をもった人間になります。
1. 高石っ子は、自然や人間のいとなみに感動し、生きること感謝し思いやりのある人間になります。
1. 高石っ子は、いかなる困難にも立ち向かう意志の強い人間になります。
1. 高石っ子は、家族のふれあいを大切にし、家族の一員としてよりよい家庭を築きあげる人間になります。
1. 高石っ子は、あらゆる活動の場を通して、豊かな体験を積み、心身共に健康な人間になります。
1. 高石っ子は、人や郷土・地域を愛し、社会に役立つ人間になります。
1. 高石っ子は、歴史と文化を大切に国際感覚を身につけた人間になります。



羽衣子育て支援センター

の転出増から転入増へと成果をあげてきました。

これを発展継続すべく、令和3年度より第2期の総合戦略として「みんなが集い、住み続け、生涯活躍できる魅力あるまち たかいし」を目標として子どもを産み育てやすい環境を整えるべく、妊娠・出産から子育て期における切れ目のない支援やあおぞら児童会の充実を図ります。とくに学校教育ICTについては、国のGIGAスクール構想に基づき、小中学校の児童・生徒1人1台のタブレット端末を整備し、新学習指導要領で求められている深い学びが得られる学習や、AIドリルを使った学習などに取組み、新しいスタイルの授業を進め、学力向上に取り組めます。

【さらなる子育て支援】

昨年9月、羽衣駅前再開発ビル(イコネはごろも)の完成にあわせ、市内で4か所目となる「子育て支援センター」がオープンしました。市内・市外を問わず多くの方にご利用いただき、ご好評をいただいています。

核家族化の進展により、子育てするお母さんたちへの支援が求められています。「子育て支援センター」では、子どもたちの遊び場の提供や

育見相談を行っており、お母さんたちの交流の場という役割も担っています。

現在、東羽衣子ども園、綾園保育所、南海愛児園でもこの「子育て支援センター」を開設しており、アブラたかいの子育てウエルカムステーションHUGOOD(ハグッド)とあわせ、市内全域で育見にかかわる様々な支援を行い、子育て世代の方々を応援してまいります。

【さらなる教育環境の充実】

学校施設の整備については、小中学校のトイレ洋式化や中学校体育館へのエアコン整備を行い、そして前述のように小中学校の児童・生徒に1人1台ずつタブレット機器を整備し、新しく始まる学習指導要領に則した学習活動に活用します。

本市においては、平成25年度から先進的に小学校1年生からの英語教育を導入しています。今年4月より、全国で小学3年生から英語教育が始まることから、ICT機器等も活用し、より効果的な英語教育、プログラミング教育を進めていきます。

【地域ぐるみでつくる安全のまち】

近年、子どもたちが犠牲になる痛ましい事件や事故が発生しており、子どもの安全の確保が課題となっております。



タブレットを使った学習活動

【さらなる教育環境の充実】

学校施設の整備については、小中学校のトイレ洋式化や中学校体育館へのエアコン整備を行い、そして前述のように小中学校の児童・生徒に1人1台ずつタブレット機器を整備し、新しく始まる学習指導要領に則した学習活動に活用します。



羽衣学園高校生徒によるジョグパト

います。

そのため今年度は、通学路の安全対策として、警察等の関係機関と合同点検のうえ、防犯カメラ21台を新たに設置しました。また、これまでも自治会や地域の各種団体などを中心とした子ども安全見まもり隊、PTAなどによる見守り活動、また青色防犯パトロールの実施など、各地域において熱心な見守り活動を実施していただいています。

昨年度からは、羽衣学園高校のテニス部の生徒たちが部活動のトレーニングとして、ジョギングをしながら児童の下校時間に通学路をパトロールする「ジョグパト」を実施されています。今年度からは新たに陸上部の生徒も加わり、活動が強化されました。走るだけでなく、すれ違う住民全員に声かけを行われており、不審者の機先を制し、治安の向上が図られています。

今後とも、地域ぐるみで子どもたちが安心して暮らせるまちをめざします。

# わたしたちの生活を話し合う会

## ～わたしたちの学校生活を、より楽しくするために～ 今年度のテーマ「いじめのない学校づくり」

毎年、小学校・中学校が連携して開催されています。今年度は35回目を迎え、令和元年12月23日(金)に「加茂小学校」で開催されました。高石市立の小学校から児童生徒の代表が集まり、意見交換して交流を深めました。  
今回は第1部では、東羽衣小学校の取組みについての発表を行いました。第2部ではそれぞれの班で今年度のテーマ「いじめのない学校づくり」について話し合い、その内容について、全体に発表しました。

### A班テーマ

#### 「いじめのない学校をつくるために」

【討議内容】  
○いじめの四層構造「被害者」「加害者」「観衆」「傍観者」のそれぞれの立場などを確認し、児童が自らの経験と照らし合わせながら、より深く「いじめ」を理解するところから話し合った。  
その後、いじめの四層構造を作り出してしまおう「あかん行動」、四層構造を打ちこわす「いい行動」をそれぞれ考え、どうすれば「あかん行動」を減らし、「いい行動」を増やしていけるのか、学校内で「いい行動」を増やすにはどうすればよいか、などについて話し合うことができた。



### B班テーマ

#### 「いじめをなくすために自分ができること」

【討議内容】  
○「自分が知っているいじめ」とはどんなものがあるか、「いじめ」といじりの境界線、「いじめをなくすために自分

ができること」を話し合い、次のような意見が出た。



【自分を知っているいじめ】  
・いじめを無視やりさせ  
・1人に対して複数でかぜ口を言う、避ける  
・他人の物をとって、自分の物にする  
・えんぴつを折る  
・いじりが行き過ぎてしまっている  
【いじめといじりの境界線】  
・その子がいややと思ったり  
・皆で楽しんでいたらいじり  
・恐怖心や嫌悪感があるといじめ  
・周りの子がいやな気持ちになるのもいじめ  
・笑顔(顔)だけで判断するのはなく、その子の本当の気持ちを知ってあげることが大事  
【いじめをなくすために自分ができること】  
・本当に思っていることが言える関係や環境を作っていく  
・皆のいいところを見つけていく  
・いじめをしている子がいた

【自分が知っているいじめ】  
・いじめを無視やりさせ  
・1人に対して複数でかぜ口を言う、避ける  
・他人の物をとって、自分の物にする  
・えんぴつを折る  
・いじりが行き過ぎてしまっている  
【いじめといじりの境界線】  
・その子がいややと思ったり  
・皆で楽しんでいたらいじり  
・恐怖心や嫌悪感があるといじめ  
・周りの子がいやな気持ちになるのもいじめ  
・笑顔(顔)だけで判断するのはなく、その子の本当の気持ちを知ってあげることが大事  
【いじめをなくすために自分ができること】  
・本当に思っていることが言える関係や環境を作っていく  
・皆のいいところを見つけていく  
・いじめをしている子がいた

ら止める  
・いじめられている子がいたら助けてあげる  
・みんな遊びをどんどんしていき  
・困っている子がいたら相談のってあげる

### C班テーマ

#### 「いじめをなくすための取り組みについて」

【討議内容】  
○「それぞれが考えるいじめ」、「自分たちの身の回り」にあるいじめ、「各校のいじめを無くすための取り組み」や「これから自分たちの学校で提案できる取り組み」について話し合い、次のような意見が出た。  
【それぞれが考えるいじめ】  
・自分と周りで見ている人だけが楽しく、されている人にとっては嫌なこと  
・人をちゃかしたり暴力をふるったりすること  
・悪口を言う  
これらの意見から、「人が嫌だと思ふことすべてがいじめである」という共通理解をした。

【自分たちの身の回りにあるいじめ】  
最近のニュースから、ネットいじめや、兵庫県で起きた教師いじめの話題が出て、これらのいじめを無くすために大切なことについて話し合った。  
・見て見ぬふりをしない  
・仲介者になる。(けんかを止める)また、観衆の人たちが「だめ」といえる仲介者になることが大事  
【各校のいじめを無くすための取り組み】  
・ブルバード運動  
・あいさつ運動  
・たてわり活動(あそびや給食と一緒に食べる等)  
【これから自分たちの学校で提案できる取り組み】  
・「こういふときどうする?」というアンケートやクイズ  
・全学年に分かりやすく伝えるために「〇〇小学校取り組むぞ運動」として劇をする  
これらの意見から、全体に提案できることとして、「劇を通して学校全体が仲良くすることを伝える」に決め、発表を行った。

【いじめをなくすためにやっていること】  
・あいさつ運動、縦割り遊び、いじめについての話し合い、みんな遊び、ニコニコ集め、学校祭り:など  
【今後私たちの周りで起こってほしくないこと】  
・一人ばつち、暴力、暴言、悪口、陰口  
【どうしたら起こりにくくなるか】  
・学級、学年、学校の中でお互いを認め合い、仲を深めていくことが必要  
【そのために何が出来るか】  
・一人ばつちの子をなくす  
・クラスでいいところを探し伝えあう(いいところカード)  
・お誕生日を聞く  
・人と比べない  
・クラスでいい行いをする(ポイント制)  
○まとめ  
・他の学校の取り組みを聞いて、自分の学校での取り組みが交流の機会や仲を深める場になっていることに気づいた



### D班テーマ

#### 「いじめをなくすために」

【討議内容】  
○いじめはぜったいにしてはいけないことを前提として、「いじめをなくすためにやっていること」、「今後私たちの周りで起こってほしくないこと」、「どうしたら、起こりにくくなるか」や「どうしたら起こりにくくなるか」に

自分たちの学校でもすぐに取り組みができるものもたくさんあったので、さっそく取り組みたいと思う

### E班テーマ

#### 「いじめのない学校をつくるために」

【討議内容】  
○はじめにアイスブレイキングをした後、「各学校でしているいじめをなくす取り組み」、「この後に学校でできる(してみたい)取り組み」、「高石市全体でいじめをなくすための取り組み」について考え、次のような意見が出た。



【各学校でしているいじめをなくす取り組み】  
・いじめアンケート  
・文化活動で生徒会発表  
・いじめほくめツリー(行動宣言)  
【この後に学校でできる(してみたい)取り組み】  
・誰とも仲よく話ができる環



境作りをして、悩みを解決し  
てあげる  
・個性を知ってもらおうカード  
を作る(違いを認める活動)  
・劇をしたい  
・アンケートから相談できる  
人を増やす

【高石市全体でいじめをなく  
するための取り組み】  
・1年に1回レク大会(ドッ  
ジボール、おにぎりっこ、クイ  
ズ)を市全体でやる。そうす  
れば友達も増える

### F班 テーマ

#### 「いじめについて」

#### 【討議内容】

○各中学校の良いところ、生  
徒会での取り組みの発表  
【良いところ】  
・皆の仲が良い  
・元気である  
・勉強にも行事にも積極的  
に取り組む  
・元気があいつがでる  
・クラブが楽しい  
・自分の意見を言える  
【生徒会での取り組み】  
・挨拶運動  
・ブルーボン運動  
・ボランティア清掃  
・HRH(はがき・ラオス・  
ヘルピング)プロジェクト  
・いじめアンケート  
・募金  
・意見箱(未成年の主張)  
・いじめはくめつりー  
・紙芝居

【いじめに対してどのような  
ことができるのか】  
・一人ひとりが自信を持てる  
ようにする  
・楽しめる何かを見つける  
・その人のことを知り、認め

合う

・一度しっかりと考えてから  
行動する  
・目安箱のようなものをつく  
り、意見を言いやすくする  
・いじめが起こらなかったり、  
許さない環境づくりをしてい  
く



### 参加児童生徒の感想

#### 【高石小学校】

この会に参加して改めてい  
じめは無くさないといけない  
ものだと思いました。  
他の学校の友達と話し合っ  
て、自分の意見とは違う意見  
もあってそういう考え方もあ  
るのかと思いました。そして、  
いじめの対処法を話し合いま  
した。私はその対処法を聞き  
て、高石小学校でいじめがお  
きないようにする工夫をたく  
さんしたいと思いました。

#### 【羽衣小学校】

普段の学校では「いじめを  
なくそう」で終わりますが、  
今回の話し合いではそこから  
もう一歩踏み込んで「いじめ

を無くすためにどんな行動が  
必要か」など色々な話ができ  
ました。いじめられている人が  
打ち明けやすい環境をつくる  
積極的にいじめをとめる、み  
んな遊びをたくさん行い交流  
を深めるなどの案が出ました。

#### 【高陽小学校】

今までに聞いたこと、見たり  
したいいじめについて、いじめ  
とじりり境界線について話  
し合いました。いじられてい  
る子の顔だけで判断するのは  
なく、本当の気持ちを知っ  
てあげることが大切だとま  
まりました。

最後に、いじめをなくすた  
めに自分ができることを考え  
たら「いじめられている子が  
いたら助けてあげる」と皆の  
前で発表しました。



#### 【取石小学校】

自分が実際に、またはテレ  
ビや漫画で見たり聞いたりし  
た事を発表しました。いじめ  
で自殺してしまう人がいては  
いけない、いじめが起きて  
いたら、見ていだけじゃな  
くて止めなければいけないと  
改めて思いました。

グループの話し合いの最後  
に行動宣言をしました。他の  
学校の活動を知れてよかったです。  
この会で話した事、聞  
いたことを皆に伝えていくこ  
とが私たちが児童会の仕事だと

思いました。

#### 【東羽衣小学校】

学んだことや感じたことが  
たくさんあります。  
まず1つ目は、各学校が  
行っている活動についてです。  
いじめをなくすために学校で  
は何をしているか、という  
テーマで、どの学校でもやっ  
ていたのが、あいさつ運動で  
す。あいさつ運動の深い意味  
を知り、人との関わりの大切  
さを改めて感じました。

2つ目は、いじりといじめ  
の境目です。いじりといじめ  
の違いは、分りにくいけど、  
された側が嫌だと思つたら  
いじめだということを皆に伝え  
たいと思いました。

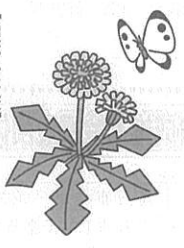
最後に3つ目は、高学年に  
なるにつれていじめが増えだ  
すので、低学年のうちに、い  
じめとは何なのか、そしてい  
じめの怖さを伝えたいの  
ではないかという事です。そ  
こで考えたのが、「素敵な高  
学年になるために」です。こ  
れは、高学年が低学年に劇等  
でいじめはだめだと教える活  
動です。

#### 【清高小学校】

悪口、暴力、陰口などにつ  
いてどうしたらよいかを話し  
合いました。取り組みについて  
は、あいさつ運動で元気に  
あいさつをし、お互いの仲を  
深めるという案や、学級代表  
がポスターを描き、廊下に  
貼っていることを発表しまし  
た。

他の学校の人と話し合うと、  
相手の事や、相手の学校の事  
まで知れたので、参加してよ  
かったと思いました。

参加し思ったことは、他の  
学校の意見を聞くと、自分の  
学校もよくする案が浮かぶと  
いうことです。学校のために  
何かすると気持ちいいし、何  
だか嬉しい気持ちにもなるの  
で、これからも新しいことを  
発見していきたいです。



#### 【加茂小学校】

私はまず、皆の心を知るこ  
とでいじめを止められるので  
はないかと思いました。その  
方法として、例えば一人一枚  
紙を配って、自分がどのよう  
なことで苦しんでいるのかや  
まわりからはいじられている  
ように見えるだけで、自分は  
それがすく辛いなど本心を  
書いてもらいます。そして、  
それを無記名で朝会で発表し、  
皆が皆の気持ちを知って考え  
る時間を作りたいと考えまし  
た。他にも、自分の気持ちを  
言える環境を作るなど、話し  
合いの中でいいアイデアがた  
くさん出てきました。

いじめについて考える時間  
があり、苦しんでいる人たち  
の役にたてる事が思いつくと、  
自分もより元気が出てきまし  
た。これからは、頑張って活  
動を行っていくことが大切な  
のだと思いました。

【高石中学校】  
今この瞬間にもいじめられ  
て悩んでいる子どもがいる  
だから僕は責任感を持ってこ

の話し合いに臨んだ。僕はい  
じめを行わない人を増やすこ  
とを目的とした、ブルーボン  
運動に興味を持ったので、  
是非、高石中学校でも行って  
みたいと思った。

#### 【高南中学校】

どうすればいじめが無くな  
るのかを考えると答えがなか  
なから出てきませんでしたが、  
僕はこの答えを出す事が一番  
大切だと考えました。大切な  
のは、一部の生徒が実行する  
のではなく、一人ひとりが  
いじめをなくすためにはどうす  
ればいいのかを考える事だと思  
いました。考える事で自分は  
どうすべきなのか分り  
いじめをする側、される側、  
見ている側が正しい行動をす  
ることに繋がるのではないかと  
思いました。

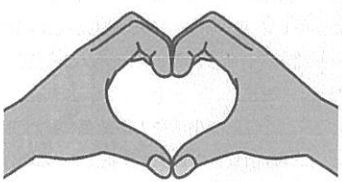
この会に出席していじめを  
無くすために努力できずすこ  
く嬉しかったです。けれど、  
まだいじめは無くなることは  
ありません。なので、いつか  
はいじめが無い学校になった  
ためには、一人ひとりがより  
考えて、すばらしい学校を築

いていく姿勢が大事だと思  
いました。

#### 【取石中学校】

いじめをなくすために高石  
市で何ができるかを考えてい  
る中で「毎年一回小中学校で集  
まってドッジボール大会やク  
イズ大会をしたらどうか」と  
いう提案があった。もし自分  
がいじめられてもそこで交流  
した知り合いに相談したりで  
きるかららしい。私もその内  
容を聞いたときに、視野を広  
げることによって孤独感にな  
くなりそうだなと思った。い  
じめとは孤独との戦いだと思  
うから。私はこの会に参加し  
て、色々な刺激をもらうこと  
ができた。

私はあまりいじめに関わり  
たくないと考えていたけれど、  
学校の活動やこういう会に参  
加することによって、いじめ  
というものは必ずなくさな  
ければいけないものだと思っ  
てきた。この会に参加したこ  
とを活かして、これからは皆  
が楽しめる学校を作っていけ  
ればいいなと思った。



### 青少年健全育成推進会の主な取り組み

高石市青少年健全育成推進会では、次代を担う青少年たちが健やかに成長するよう、いろいろな取り組みを行っています。

#### 令和元年度高石市青少年健全育成推進会事業報告

##### 元年

###### ★街頭指導

市内各小学校別に毎月1～2回実施（通年実施）  
青少年健全育成の啓発推進及び愛の一声運動等を行うとともに、青少年のたまり場となりやすい場所を巡回し、非行防止と健全育成を図る。

##### 7月

###### ★役員会

平成30年度事業報告  
令和元年度事業計画

###### ★青少年健全育成市民大会・社会を明るくする運動

場 所：高石市民文化会館小ホール  
参 加 者：市民約 130名  
内閣総理大臣メッセージ朗読  
高石市保護司会々長 中谷 正彦  
講 演：テーマ「人と問題を分ける  
～本当の出会いのために～」  
講 師：スクールソーシャルワーカー  
谷奥 大地 氏

##### 11月

###### ★青少年健全育成強調月間

ポスター掲示等による広報活動

###### ★環境浄化運動

市内全域の環境調査（有害図書販売店の調査）

##### 12月

###### ★わたしたちの生活を話し合う会

テ ー マ：「いじめのない学校づくり」  
参 加 者：市内小中学校の児童生徒代表

##### 2年

##### 2月

###### ★学校問題研修会

テ ー マ：「愛着障害の理解と支援」  
講 師：和歌山大学 教授 米澤 好史 氏

# 学校問題研修会 (講演)

日 時 令和2年2月3日(月)  
場 所 高石市役所別館3階 311・312会議室  
テ ー マ 「愛着障害の理解と支援」  
講 師 和歌山大学 教授 米澤 好史 氏



年々、愛着障害の子どもの数が増えており、今後も現在の倍以上増えます。しかし愛着障害を誤解している方が大勢いらっしゃいます。

まず、愛着について説明します。愛着とは、「特定の人と結ぶ情緒的な心の絆」と定義されています。この定義が重要で、愛着を誰と結ぶかという、「特定の人」であって、親子に限られて

いません。「特定の人」とであれば誰とでも結ぶことができます。

また、何でつながっているかという、情緒的、気持ちでのつながりです。愛着障害では、感情が育っていないことが多く、相手の気持ちを分かってあげられない。また本人も、自分の気持ちがわからない。どんな気持ちだったんだと聞かれても、本人はわからない。パニックになり、暴れてしまうといったことがあります。絆は人と人の間にできます。一方だけを責めても意味がありません。

次に、間違った愛着障害の理解についてお話します。まず、施設入所・虐待された子特有のものだという誤解です。通常家庭においても、愛着障害は誰にでも起こりうるものです。

次に、産んだ、育てた親のせいだという誤解です。愛着障害は関係性の障害であるため、親のかかわりだけが原因ではなく、相性によって起こります。同じ家庭の兄弟でも、上の子どもは問題が起こらないが、下の子には課題が起こるといったこともありうるのです。

次に、臨界期（生後1歳6か月）や敏感期を過ぎると手遅れであるという誤解です。いつでも関係性を修復することが可能です。

最後に、親にしか愛着を形成・修復することができないという誤解です。繰り返しとなりますが、愛着とは「特定の人と結ぶ情緒的な心の絆」です。誰にでも愛着の形成・修復は可能です。例えば、先生が「特定の人」となることで愛着障害は修復できます。親がしんどい状況の中では、他の人が「特定の人」となり、まず子どもを変えます。その後、保護者が変わることが重要です。親との関係も他者との愛着修復後の方が修復しやすいのです。

さて、次に愛着形成のために必要な3つの基地機能について説明します。まず第1に、安全基地機能です。恐怖や不安（ネガティブな感情）から自身を守る機能で、例えば、生後5、6か月の人見知り期に、親が「大丈夫、お母さんおるよ」と伝えることで安全基地が築かれます。安全基地が形成されていないと、学校などで初めてのことが起きた場合、不安から逃げたくてしまいます。

第2に、安心基地機能です。安全基地とは異なり、落ち着く・楽しくなるなど「ポジティブな感情」が生じる感情基地です。

第3に、探索基地機能です。安全・安心基地から離れ、行動したうえで安全・安心基地に帰り、一番聞いてほしい人に報告する機能です。安全基地と安心基地が探索基地の両輪となっており、この中で感情機能の発達がなされます。

まず「安全・安心基地から離れる」についてですが、これができないのが母子分離不安です。次に、「安全・安心基地に帰る」について、これができないというのは、例えば、帰らない状況が一番自分を見てもらえる・構ってもらえるとして、お迎え逃避・徘徊・放浪などが挙げられます。次に「帰ってきたときに、一番聞いてほしい人に報告する」についてですが、学校や幼稚園で自分が経験したことを一緒に経験したかのように思いたい、この気持ちが出て絆ができてきたと判断できます。一人で経験した感情を一緒に共有することで、ポジティブな感情を高め、ネガティブな感情を緩和することができます。

愛着の問題は学習意欲に影響を与えるだけでなく、集団生活や人間関係のトラブルを引き起こします。情緒の問題を抱えている子どもについては、愛着の問題を抱えている場合も多いため、愛着障害について誤解なく捉え、支援を行っていく必要があります。

## 高石市青少年健全育成推進会構成団体名

(順不同)

高 石 市	高石市内ガールスカウト
高 石 市 議 会	高石市PTA連絡協議会
高石市教育委員会	高石市連合自治会
高 石 警 察 署	高石市社会福祉協議会
岸和田子ども家庭センター	高石市婦人団体協議会
堺少年サポートセンター	高石市母子寡婦福祉会
高石市内幼稚園	高石市少年補導員
高石市内認定こども園	高石市こども会育成協議会
高石市内小学校	高石市スポーツ少年団
高石市内中学校	高石市文化協会
高石市内高等学校	高石市体育協会
高石市内専門学校	高石商工会議所
高石市防犯協会	高石ロータリークラブ
高石市保護司会	高師浜ロータリークラブ
高石市更生保護女性会	羽衣ロータリークラブ
高石市人権協会	堺・高石青年会議所
高石市人権擁護委員	高石交通安全協会
高石市民生委員児童委員協議会	高石中学校区地域教育協議会
高石市社会教育委員	高南中学校区地域教育協議会
高石市青少年指導員協議会	取石中学校区地域教育協議会
高石市内ボーイスカウト	